



7月29日

じょんからまつり開会式会場での栗市長

ごあいさつ

平成29年8月4日

7月29日、今年も野々市じょんからまつりが2日間にわたり開催されました。開会式当日はまだ梅雨明け宣言はされていませんでしたが、開会式で「今日、野々市は梅雨明けしたことを宣言いたします」とごあいさつさせていただくほどの良い天候に恵まれました。

じょんからまつりをはじめ、この期間中に石川県民体育大会のソフトボール競技の応援、「椿カップ」少年サッカー大会の表彰式と、屋外での行事が多かったこともあり、かなり日焼けをしてしまいました。顔の中でいちばん太陽に近い鼻の周辺が真っ赤になり、お会いする方ごとに、じっと見つめられて「どうされましたか」と、おたずねを受けます。

夏は好きな季節なので、少しくらい日焼けしてもいいと思っていたのですが、季節はずれの「赤鼻のトナカイ」になっただけでした。

今年のじょんからまつりは野々市小学校の増築工事のため、会場のレイアウトを例年とは少し変えました。それがかえって新鮮でもあり、来場された方の流れもよく、ステージと観客席の一体感もあったように感じました。来場者数は昨年よりも多く32,000人ということで、まつり会場では楽しんでいただけたのではないかと思います。この時期、それぞれの町内会などでも夏祭りや盆踊り、バーベキュー大会などが催されます。地域がつながり、人がつながる絶好の機会ですので、大切にさせていただきたいと思っています。

8月に入り、中央公民館と市立図書館が一時閉館となりました。平成31年4月に地域中心交流拠点施設として再び中央公民館がお目見えいたしますが、これまでの公民館の機能に加えて、民間の商業施設の参入も考えています。観光物産協会の皆さんにもご協力いただき、野々市ならではのものの販売や発信をし、さらには、金沢工業大学と県立大学があることが本市の特徴でもあるので、大学生の皆さんとも交流できる「場所」にすることも視野に入れております。この施設を含め、この周辺が野々市の「市」のような雰囲気を持ち、またその拠点となるようなイメージを描いております。

11月にはいよいよ「カレード」がオープンいたします。1日に内閣府から越智副大臣が視察に来られました。当日は金沢市内で官民連携を議論されている「公共サービスイノベーション・プラットフォームin北陸」という会議があり「カレード」がPFI事業であり、官民連携でどのような図書館をめざしているのかということでの視察でした。地方ではこのような取り組みがあまり進んでいません。県内でも本市は野々市小学校、小学校給食センターとPFIで整備してきたので、先進地ということになります。民間の活力をいただくことにより、図書館の開館時間も午後10時までというメリットもあり、行政だけではできない発想も生まれ、夢のある図書館になることと思います。11月のオープン時はいくつかのサプライズも準備しております。ぜひ期待して、お待ちください。

今月20日には市総合防災訓練が行われます。町内会や、それぞれの避難所で取り組んでいただくこととなります。災害が起きたときは、ゆっくり考える時間ありません。体を動かした体験が活かされることにつながりますので、年に一回の訓練ではありますが、ご参加ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

暑い夏ですが、充分ご自愛いただきお過ごしください。

※PFI・・・公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金や手法を活用し、公共サービスの提供を民間主導で行い、効率的効果的な公共サービスの提供を図ること。